

2021年 12月7日(火)  
15:00~17:00

第1部 講演会 15:05~16:00

## 光触媒とはなんぞや ~光触媒の正しい理解~



錦織 広昌 信州大学 工学部物質化学科 教授

現在、セルフクリーニング効果などをうたった様々な光触媒商品が数多く出回っている。本講演では、光触媒の基礎的な原理について解説し、確かな実用例を紹介する。光触媒の長所と短所を正しく理解したうえで、効果的な利用ができるよう、学術的なシーズとその展開について述べる。

第2部 感染対策開発事例の紹介 16:00~17:00

## 1. NOxを含まないオゾン発生器『AirVenus』とUV除菌装置

株式会社オーク製作所

諏訪工場研究開発部 部長 芹澤 和泉 氏

電子産業用UVランプ製造技術を活用し、金属や樹脂へのダメージを低減したNOxを含まないオゾン生成技術「pureO」テクノロジーによる低濃度~高濃度までの各種オゾン発生装置と、カラオケ店等で活躍する特殊紫外線ランプによるUV照射装置などの各種除菌消臭装置を開発しました。



## 2. 高機能オゾン空気洗浄機「オゾンエアクリア」

株式会社IHI物流産業システム

環境ソリューションBU 開発グループ長 釜瀬 幸広 氏

空気浮遊・付着ウイルスをHEPAフィルターとオゾンで除菌しながら、空気を清浄化。HEPAフィルターを常にクリーンに保つために装置内で発生させたオゾンは、装置内ですべて分解し、酸素に戻ります。



## 3. 高活性光触媒コート剤の開発と実用化

株式会社アシスト&amp;ソリューション

環境衛生技術・光触媒開発事業部統括 技術顧問 古畑 聡志 氏

現状の「銅担持酸化チタン光触媒剤(Cu-TiO<sub>2</sub>)」をベースとする高活性光触媒剤の開発により、アンダーコート剤の塗布技術を用いた多方面へのコーティングの実用化の紹介。



## 参加申込み

参加ご希望の方は、お申込みフォームまたはメールにて信州大学URA室までお申込み下さい。メールの場合、件名に「第38回医療機器開発全般セミナー申込み」と記載し、①氏名 ②所属機関/会社名 ③所属部門・役職 ④メールアドレスを記載のうえ、12月5日(日)までにお申し込みください。

お申込みフォーム: <https://bit.ly/3HAYTRA>

お申込みフォーム



## 【参加お申込み・お問合せ先】

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 URA室 (信州メディカル産業振興会 事務局)

TEL: 0263-37-3421 FAX: 0263-37-3425 MAIL: smia@shinshu-u.ac.jp 担当: 高橋、勝俣、内堀